

※ 網掛けのない部分が評価計画、網掛けの部分が評価結果を受けて記入する。

## 1 教育目標（目指す児童像含む）

### 【基本目標】

人間尊重の教育を基盤に、豊かな心と健やかな体を持ち、自らの課題を意欲をもって創造的に解決することができる、たくましく生きる力をもった児童の育成を目指す。

### 【具体目標】（目指す児童像）

健康で根強い子 進んで学び よく考える子 心豊かで 思いやりのある子

## 2 学校経営の理念（目指す学校像含む）

全職員が相互信頼と協働性を基盤に学校経営に参画し、目指す児童像に対応した教育活動の実践に努める。この教育活動を展開するために、次の「目指す学校像」、「目指す教職員像」を設定し学校経営を推進する。

### 【目指す学校像】

- (1) 明るく 活力のある学校
  - ・分かる授業が展開され、一人一人が生き生きと活動している学校
- (2) 温かく 居がいのある学校
  - ・認め合い、励まし合って、一人一人のよさや個性が発揮できる学校
- (3) 地域に開かれ 信頼される学校
  - ・保護者や地域との連携を強化し、協力し合って児童を育成する学校

### 【目指す教職員像】

- (1) 前向きで 熱意がある教職員
  - ・自らの使命を自覚し、意欲的に職務に励む教職員
- (2) 愛情をもって 子どもと向き合う教職員
  - ・教育的愛情をもち、一人一人のよさや個性を大切にする教職員
- (3) 自己研鑽に努め 協働を大切にする教職員
  - ・自ら進んで研修に励み、協力し合って職務を遂行する教職員

## 3 学校経営の方針（中期的視点） ※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針は文頭に○印を付ける。

- (1) 人間尊重の精神を基盤とし、児童一人一人のもつ「持ち味」や「よさ」等を見取るとともに、児童とのふれ合いを通して、さらに認め伸ばし、豊かな心の育成に努める。
- (2) 一人一人の児童を多くの教職員で様々な視点から見取りながら、「楽しく、分かる授業」を展開し、基礎・基本の定着を図るとともに、思考力・判断力・表現力など確かな学力の育成に努める。
- (3) 気力や体力を育む教育活動の充実に努め、生涯に渡って健康で安全に生活できる能力の育成に努める。
- (4) 教育公務員としての自覚をもち、サービスを厳守するとともに、進んで自己研鑽に励み、自らの資質を高め、さらに、協働の精神を大切に、教職員・児童へ還元できるように努める。
- (5) 安心・安全に過ごすことのできる教育環境や落ち着いた生活できる潤いのある教育環境の整備に努める。
- (5) 家庭・地域社会との連携を密にし、地域の教育力を生かした信頼と協力を基盤とする「開かれた学校づくり」に努める。
- (6) 陽東地区内の小中学校が連携し、義務教育9年間の総合的にとらえ、児童生徒の心豊かでたくましく生きる力の育成を目指した教育活動の推進に努める。

### 【陽東地域学校園教育ビジョン】

地域の教育力を生かし、地域とのかかわりを通して、心豊かでたくましく生きる子どもの育成

## 4 今年度の重点目標（短期的視点） ※「小中一貫教育・地域学校園」に関する重点目標は文頭に○印を付ける。

### 【学 校 運 営】

「地域協議会」との連携のもと、地域の教育力を活用した地域と共に歩む学校づくりの推進

- (1) 体力と気力増進 (2) 確かな学力の定着 (3) 豊かな心の育成 (4) 地域と共に歩む学校づくり  
○(5) 地域学校園活動の推進 (6) 教職員の資質の向上 (7) 危機管理・環境整備の充実

### 【学 習 指 導】

「豊かなかかわりの中で、生き生きと活動する児童の育成」

～言語活動を効果的に取り入れた国語の授業づくり～

- (1) 基礎・基本の確実な定着 (2) 学習指導の工夫・改善 (3) 読書活動の充実  
(4) 家庭・地域との連携・協力

### 【児 童 生 徒 指 導】

「自ら考え、適切な判断と行動ができる児童の育成～義務教育9年間の系統性を図った指導を通して～」

- (1) 基本的生活習慣の育成 (2) 規範意識や人権感覚・意識の醸成 (3) 望ましい集団づくり  
(4) 個に応じた指導の充実 (5) 家庭・地域・関係機関などとの連携

### 【健康(保健安全・食育)・体力】

「自らの健康や体力についての理解を深め、進んでその向上に努める児童の育成」

- ～基礎体力の向上を目指した教科体育の充実・保健指導及び食育との関連を踏まえた学級活動の充実～  
○(1) 望ましい食習慣の育成 (2) 健康・体力の向上 (3) 家庭・地域との連携協力

5 自己評価（評価項目のAは市共通、Bは学校独自を示す。）

※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針・重点目標・取組にかかわる内容は、文頭に○印または該当箇所に下線を付ける。

※「主な具体的な取組」の方向性には、A拡充 B継続 C縮小・廃止、を自己評価時に記入する。

項目	評価項目	主な具体的な取組	方向性	評価								
学校運営の状況	<p>A1 学校は、活気があり、明るくいいきとした雰囲気である。</p> <p>【数値指標】 全体アンケート 「私は、今の学校が好きです」 ⇒児童の肯定的回答 80%以上</p>	<p>1 日常の指導において、児童が自主性や主体性を発揮できる場の確保に努める。</p> <p>(1) 体験活動を重視した学習活動の積極的な展開 (2) 学級活動の充実による、明るく、活力のある学級風土づくりの推進</p> <p>2 児童会活動や学校行事の工夫・改善を通して、児童の主体的な活動の場を確保し、楽しく、活気あふれる学校づくりを目指す。</p> <p>(1) 縦割り班活動の充実 (2) 学校行事や児童会運営への児童の参加促進</p>	B	<p>【達成状況】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>教職員</th> <th>保護者</th> <th>地域住民</th> <th>児童</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>97.1</td> <td>97.7</td> <td>100.0</td> <td>92.1</td> </tr> </tbody> </table> <p>数値指標は、児童の肯定的回答が 90%以上であり、十分満足できる結果となった。 ねらいに沿って、計画的に体験活動や学級活動を行い、児童会活動を活性化することにより、楽しく、活気あふれる学校づくりが推進されたと考える。</p> <p>【次年度の方針】 ・学級においては、児童の自主性が発揮できる体験活動や学級目標達成に向けた学級活動の充実を図り、全校体制の取組として縦割り班活動や児童会活動、学校行事がより主体的な取組となるよう工夫改善を行う。</p>	教職員	保護者	地域住民	児童	97.1	97.7	100.0	92.1
	教職員	保護者	地域住民	児童								
	97.1	97.7	100.0	92.1								
<p>A2 教職員は、組織の一員として熱心に教育に当たっている。</p> <p>【数値指標】 全体アンケート 「先生方は、大切なことを熱心に指導してくれる」 ⇒児童の肯定的回答 80%以上</p>	<p>1 一人一人の教育的ニーズを十分に把握して児童理解に努めるとともに、組織を活用した指導の充実を図る。</p> <p>(1) 教育相談や保護者との懇談を通じた児童理解の推進</p> <p>2 日々の学習指導の工夫・改善に努め、「分かる、できる」楽しい授業づくりを目指す。</p> <p>(1) 授業のねらいの明確化 (2) 指導形態や指導方法の工夫 (3) 個に応じた支援の工夫</p>	B	<p>【達成状況】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>教職員</th> <th>保護者</th> <th>地域住民</th> <th>児童</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>97.1</td> <td>94.4</td> <td>97.0</td> <td>97.2</td> </tr> </tbody> </table> <p>数値指標は、児童の肯定的回答が 95%以上であり、十分満足できる結果となった。 日常的に児童理解に努め、授業のねらいを明確にした授業展開を行ってきたことにより、「わかる、できる」授業となり成果が表れたと考えられる。</p> <p>【次年度の方針】 ・学習指導上や児童指導上の課題を常に意識し、授業研究会や児童指導対策委員会などを通して指導内容を共通理解し、児童理解を深めながら、組織的に指導にあたっていく。</p>	教職員	保護者	地域住民	児童	97.1	94.4	97.0	97.2	
教職員	保護者	地域住民	児童									
97.1	94.4	97.0	97.2									
<p>A3 児童は、授業と生活のきまりやマナーを守り、秩序があり安全な学校生活をしている。</p> <p>【数値指標】 全体アンケート 「児童は、授業と生活のきまりやマナーを守って生活している」 ⇒児童の肯定的回答 80%以上</p>	<p>1 基本的な生活習慣育成の徹底を図るとともに、規範意識を高める指導の充実を図る。</p> <p>(1) 「石井っ子の生活」に基づいた組織的な指導の充実 ① 家庭との連携の推進 ② 自己評価の活用法の工夫 (2) 生活当番組織を活用した日常生活指導の充実 ① 生活目標の周知方法の工夫 ② 朝の会や帰りの会を活用した児童の主体的な活動の推進</p>	B	<p>【達成状況】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>教職員</th> <th>保護者</th> <th>地域住民</th> <th>児童</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>97.1</td> <td>93.7</td> <td>100.0</td> <td>82.6</td> </tr> </tbody> </table> <p>数値指標は、児童の肯定的回答が 80%を超え、目標値を達成することができた。 児童の実態に応じた週目標の設定による生活指導や「石井っ子の生活」を軸とした意図的な指導が浸透してきた成果が表れたと考える。</p> <p>【次年度の方針】 ・年度当初に「石井っ子の生活」の確認を徹底し、全校体制で継続的に指導を行っていく。さらに、学期単位で児童に自己評価させて意識付けを行い、学校全体としての課題に対しては、児童会活動との関連を図り、児童の主体的な活動につなげて改善を図っていく。</p>	教職員	保護者	地域住民	児童	97.1	93.7	100.0	82.6	
教職員	保護者	地域住民	児童									
97.1	93.7	100.0	82.6									

A 4 教職員は、分かる授業や児童にきめ細やかな指導を行い、学力向上を図っている。

【数値指標】  
全体アンケート  
「先生方の授業は分かりやすく、一人一人に丁寧に教えてくれる」  
⇒児童の肯定的回答 80%以上

1 学校課題を中心とした全校体制による授業研究をとおして、「分かる・できる授業」づくりを積極的に推進する。

- (1) 単位時間及び単元の指導法の工夫・改善
- (2) 「一人一研究」実践による指導法の工夫・改善

2 児童一人一人の学習状況を的確に把握し、個に応じたきめ細かな指導を充実させる。

- (1) 少人数指導や T.T による指導の工夫・改善
- (2) 朝の活動を活用した基礎学力の向上（振り返り学習）

【達成状況】

教職員	保護者	地域住民	児童
97.1	88.3	89.7	96.0

数値指標は、児童が約 96%の肯定的回答であり満足できる結果となった。

「分かる・できる授業」づくりの積極的な推進、個に応じたきめ細かな指導の充実等が評価されたと考えられる。保護者と教職員の意識に開きがあることから、より積極的な情報発信を展開する必要があると考えられる。

【次年度の方針】

- ・学力向上に向けた授業研究、指導体制・指導形態の更なる充実を図り、より分かりやすい授業や個に応じた指導を展開していく。
- ・研究授業の様子や成果をたよりやHPに掲載し、取組の様子を保護者や地域に積極的に発信していく。

A

A 5 教職員は、いじめが許されない行為であることを指導している。

【数値指標】  
全体アンケート  
「先生方は、いじめが許されないことを熱心に指導してくれる」  
⇒児童の肯定的回答 80%以上

1 道徳の時間を要とした道徳教育を充実させ、人権感覚の醸成を図る。

- (1) 「いじめ問題」や「生命尊重」を題材とした道徳授業の実践
- (2) 児童主体による「いじめゼロ集会」の実践
- (3) 道徳の時間の指導の充実と人権意識の涵養を目指した情報発信の推進

2 全校体制による組織的ないじめ防止策の積極的な推進を図る。

- (1) いじめゼロ強調月間の取組の充実
- (2) 教育相談並びに児童指導委員会の充実
- (3) 年4回のいじめアンケートの実施と結果の効果的な活用

【達成状況】

教職員	保護者	地域住民	児童
97.1	73.5	97.0	97.2

数値指標は、児童が95%超の肯定的回答で、数値上は目標値を十分に達成することができた。保護者と児童及び教職員との数値に大きな開きがあるが、積極的な情報の発信により、前年度に比べると保護者に学校の取組が理解されつつあると考える。

【次年度の方針】

- ・道徳の授業の充実による人権感覚の醸成と教育相談、児童指導委員会等を活用し、全校体制による組織的ないじめ防止策の継続的、積極的な推進を行っていく。
- ・「いじめ防止基本方針」の改訂の周知を含め、積極的に情報の発信を行っていく。

A

A 6 日課、授業、学校行事などの教育課程は、適切に実施されている

【数値指標】  
全体アンケート  
「私の学校生活や様々な活動は充実している」  
⇒児童の肯定的回答 80%以上

1 日々の教育実践の記録等を累積し、より適切な教育課程の編成を推進する。

- (1) 週案による時数管理の徹底
- (2) 各行事反省による評価資料の収集と次年度計画への反映

2 学校評価の結果を検証し、児童や保護者、地域住民等の思いや願いを十分生かした教育課程の編成に努める。

- (1) マネジメントサイクルを重視した教育活動の展開
- (2) 校内評価委員会を活用した組織的な評価の推進

【達成状況】

教職員	保護者	地域住民	児童
97.1	96.7	100.0	91.9

数値指標は、児童の肯定的回答が90%以上であり、十分満足できる結果となった。

より効果的な教育課程を目指して、様々な角度から評価を行い、改善を積み重ねてきた結果と考える。

【次年度の方針】

- ・今後も、各種行事等の評価・改善を適切に行い、本校の児童実態に即した教育課程を編成し、充実した教育活動を行っていく。
- ・職員においては、今年度と同様年間2回の学校評価を行い、校内評価委員会による課題解決に向けた改善策を検討し、教育活動の改善に努めていく。

B

**A 7 学校の公開や情報の積極的な発信・提供が行われ、開かれた学校づくりが進められている。**

**【数値指標】**

全体アンケート

「学校は、学校便りや学校公開などで、積極的に情報を発信・提供している」

⇒保護者の肯定的回答 80%以上

1 学校公開を積極的に行い、開かれた学校づくりを推進する。

(1) オープンスクール等による学校公開の推進

(2) 学校行事公開や地域ボランティアとの連携による教育情報の積極的な発信

2 各種便り等を活用し、家庭や地域への、教育情報の積極的な発信を推進する。

(1) 学校便り、学年便り、保健便り、食育便り、図書館便り等の工夫と定期的発行

(2) ホームページの定期的な更新による情報発信

**【達成状況】**

教職員	保護者	地域住民	児童
97.1	95.5	97.4	

数値指標は保護者の肯定的回答が 95%超であり、昨年度に引き続き、高い評価を得ることができた。

年間 2 回の土曜授業及びオープンスクール、学校行事の積極的な公開、ホームページや各種便り等による情報発信が評価されたと考えられる。

**【次年度の方針】**

・「開かれた学校」を目指して、オープンスクール等の更なる充実を図る。情報発信については、学校・学級で行っている様々な取組についても取り上げ、各種便りや HP で適宜発信していく。

**A 8 学校と家庭・地域・企業等との連携・協力を図った地域の学校づくりが推進されている。**

**【数値指標】**

全体アンケート

「学校は、家庭・地域・企業と連携・協力して、教育活動や学校運営の充実を図っている」

⇒保護者の肯定的回答 80%以上

1 地域の教育力を積極的に活用し、地域に根差した特色ある教育活動を推進する。

(1) 学校支援ボランティアの積極的な活用

(2) 地域連携教員を中心とした組織的な取組の推進

(3) 地域学習素材や人材の活用

2 石井小学校地域協議会と連携を一層強化して、地域の学校づくりを積極的に推進する。

(1) 地域コーディネーターとの連携の強化

(2) 地域と保護者、保護者相互のつながりを深める取組の充実

(3) 石井地域コミュニティーセンター等、地域施設・団体と連携した取組の工夫

**【達成状況】**

教職員	保護者	地域住民	児童
97.1	94.3	94.7	92.2

数値指標は、保護者の肯定的回答が 90%超であり、満足できる結果となった。

学校支援ボランティアの積極的な活用、地域協議会との連携等により、地域の教育力を活かした特色ある教育活動が推進されたことが評価されたと考える。

**【次年度の方針】**

・地域コーディネーター・地域連携教員と連携し、年間を見通した計画的な学校支援ボランティアの活用を心掛けるとともに、よりよい支援体制を構築する。また、特色ある学校づくりの更なる推進を目指して地域協議会との連携を強化していく。

**A 9 校内は、学習にふさわしい環境となっている。**

**【数値指標】**

全体アンケート

「学校は、荷物や備品が整理整頓されるなど、学習しやすい環境である」

⇒保護者の肯定的回答 80%以上

1 学校配当予算の効果的な執行及びPTA との連携により、教材備品等の整備を推進する。

2 安全点検結果に基づき、修繕補修を迅速に行い、安全な学習環境づくりを推進する。

(1) 日常点検、定期点検等の安全点検の充実

3 児童と教師の協働による日常の清掃活動等を充実させ、環境の美化に努める。

(1) 縦割り班清掃活動の充実

① 清掃強化週間の設定

② 清掃ボランティアの活用

**【達成状況】**

教職員	保護者	地域住民	児童
94.4	93.1	94.6	89.3

数値指標は、保護者の肯定的回答が 90%超と、前年度と同様に、高い評価を得ることができた。

**【次年度の方針】**

・今後も児童の教育活動の充実につながる教材教具の整備と安全な学習環境づくりの推進に向けた迅速な対応を行っていく。

・日常的な縦割り班清掃に合わせ、清掃ボランティアの活用等による環境美化への意識の向上を図っていく。

教育活動の状況	<p><b>A10</b> 学校は、「小中一貫教育・地域学校園」の取組を行っている。</p> <p>【数値指標】 全体アンケート 「学校は、小学校と中学校が連携した「小中一貫教育・地域学校園」の取組を行っている」 ⇒保護者の肯定的回答 80%以上</p>	<p>1 小中教職員の相互理解を目的とした乗り入れ授業の充実を図る。</p> <p>(1) 事前・事後の打合せ、情報の共有化 (2) 授業参観による相互理解</p> <p>2 中学生との交流により、豊かな心やコミュニケーション力の育成を図る。</p> <p>(1) あいさつ運動の推進 (2) 交流の場の設定(中学校訪問、陸上の合同練習等)</p>	<p>【達成状況】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>教職員</th> <th>保護者</th> <th>地域住民</th> <th>児童</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>91.4</td> <td>87.6</td> <td>87.9</td> <td>88.5</td> </tr> </tbody> </table> <p>数値指標は、保護者の肯定的回答が 80%を超え、数値目標を達成することができた。学校便り、HP 等による情報発信が有効に行われた成果と考えられる。</p> <p>【次年度の方針】 小学校と中学校の教職員が更なる連携を図り、9年間を見通した教育活動の推進を目指していく。6年生がスムーズに中学校生活につながるよう、効果的な交流の場を検討・実施していく。</p>	教職員	保護者	地域住民	児童	91.4	87.6	87.9	88.5
	教職員	保護者	地域住民	児童							
	91.4	87.6	87.9	88.5							
<p><b>B1</b> 教職員は、児童・保護者との信頼関係を築き、居がいのある学校づくりに努めている。</p> <p>【数値指標】 全体アンケート 「教職員は、保護者と連絡を密にしながら指導に当たっている。」 ⇒保護者の肯定的回答 80%以上</p>	<p>1 家庭と連携して、一人一人のよさを認め励ます教育を充実させることで、自尊感情を育むことに努める。</p> <p>(1) 褒めて伸ばす教育の推進 (2) 児童相互に認め合う場の設定</p> <p>2 校内組織を活用して、問題行動の早期発見、早期対応に努めるとともに、家庭や関係機関と連携した指導の充実を図る。</p> <p>(1) 学年会での積極的な情報交換による情報の共有化 (2) 児童指導委員会、いじめ防止対策委員会を活用した組織的な取組の推進</p>	<p>【達成状況】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>教職員</th> <th>保護者</th> <th>地域住民</th> <th>児童</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>97.1</td> <td>79.2</td> <td>100.0</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>数値指標は、保護者の肯定的回答が 80%をわずかに下回った。保護者と教職員との数値に開きがあることから、学校の取組がまだ十分理解されていないのではないかと考えられる。</p> <p>【次年度の方針】 ・今後も、一人一人のよさを認め励ます取組を継続的に行うことにより自尊感情を育んでいきたい。 ・授業参観後の学級懇談会のもち方を工夫したり、学年便りの記事を充実させたりして、情報提供を活性化させることで、保護者と連携した指導につなげていきたい。</p>	教職員	保護者	地域住民	児童	97.1	79.2	100.0		
教職員	保護者	地域住民	児童								
97.1	79.2	100.0									
<p><b>A11</b> 児童は、進んであいさつをしている。</p> <p>【数値指標】 全体アンケート 「児童は、時と場に応じたあいさつをしている」 ⇒児童の肯定的回答 80%以上</p>	<p>1 家庭や地域と連携し、あいさつ運動の積極的な推進を図る。</p> <p>(1) 年 5 回の地域学校園あいさつ運動の取組の充実 (2) 校内あいさつ運動（4，9，1月）の積極的な展開 (3) 教師の率先垂範による日常的なあいさつ指導の推進</p>	<p>【達成状況】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>教職員</th> <th>保護者</th> <th>地域住民</th> <th>児童</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>94.3</td> <td>71.0</td> <td>97.4</td> <td>89.8</td> </tr> </tbody> </table> <p>数値指標は、児童の肯定的回答が 85%超となり、目標を達成することができた。しかし、保護者との数値には大きな開きがあり、家庭生活を含めた校外生活でもあいさつが習慣化されることが課題であると考えられる。</p> <p>【次年度の方針】 ・日常的なあいさつの奨励と児童主体となった各種あいさつ運動の充実を図り、それらの取組が、校外でのあいさつにつながるよう家庭・地域とも連携を図っていきたい。</p>	教職員	保護者	地域住民	児童	94.3	71.0	97.4	89.8	
教職員	保護者	地域住民	児童								
94.3	71.0	97.4	89.8								
<p><b>A12</b> 児童は、正しい言葉づかいをしている。</p> <p>【数値指標】 全体アンケート 「児童は、時と場に応じた言葉づかいをしている」 ⇒児童の肯定的回答 80%以上</p>	<p>1 言語活動を充実させ、児童一人一人のコミュニケーション能力を高める指導を積極的に行う。</p> <p>(1) 国語科学習指導の充実 (2) 会話科「ことばの時間」の指導法の工夫</p> <p>2 思いやりの心を育み、相手の気持ちを考えて気持ちの良い言葉遣いのできる児童の育成を推進する。</p>	<p>【達成状況】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>教職員</th> <th>保護者</th> <th>地域住民</th> <th>児童</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>91.4</td> <td>76.6</td> <td>97.4</td> <td>83.3</td> </tr> </tbody> </table> <p>数値指標は、児童の肯定的回答が 80%超となり、目標を達成することができた。しかし、保護者と児童及び教職員、地域住民との数値に開きがあり課題が残った。</p> <p>【次年度の方針】 ・授業中・休み時間等の児童の言動に留意し、友達同士や公の場での望ましい会話の仕方などについて、指導・改善を図り、校内の言語環</p>	教職員	保護者	地域住民	児童	91.4	76.6	97.4	83.3	
教職員	保護者	地域住民	児童								
91.4	76.6	97.4	83.3								

		(1) 日常の道徳教育の充実 (2) 人権教育の推進と人権週間の取組の充実 (3) 教師の率先垂範による好ましい言語環境の構築	境の整備を進めていく。 ・道徳教育・人権教育の充実を図り、相手を思いやる言動ができるよう指導をしていく。								
健康・体力	A13 児童は、進んで運動する習慣を身に付けている。 【数値指標】 全体アンケート 「児童は、休み時間や放課後などに進んで運動している」 ⇒児童の肯定的回答 80%以上	1 日常的な体育活動の充実を図り、進んで健康や体力の保持・増進に努める児童の育成を図る。 (1) 元気っ子体力チェックによる実態の把握と改善策の検討 (2) 補強運動の計画的実践 (3) 各種検定表を活用した主体的な体力づくりの推進  2 競い合い、高め合う体育的活動を積極的に取り入れ、自主的に体力づくりに励む児童を育成する。 (1) うつのみや元気っ子チャレンジへの積極的な参加	【達成状況】 <table border="1"> <thead> <tr> <th>教職員</th> <th>保護者</th> <th>地域住民</th> <th>児童</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>97.1</td> <td>67.3</td> <td>81.8</td> <td>91.1</td> </tr> </tbody> </table> 数値指標は、児童の肯定的回答が90%超で、満足できる結果となった。ただ、保護者の肯定的回答が低く、放課後等の家庭生活における運動離れが心配される結果となった。  【次年度の方針】 ・日常的な外遊びを奨励し、運動の楽しさを味わわせる活動を重視していく。うつのみや元気っ子チャレンジ、元気っ子健康体力チェックや各種検定カードを活用し、年間を通じた基礎体力の増強を図る。健康・体力の保持、増進への意識を高め、学校以外での運動促進につなげていく。	教職員	保護者	地域住民	児童	97.1	67.3	81.8	91.1
	教職員	保護者	地域住民	児童							
97.1	67.3	81.8	91.1								
A14 児童は、栄養のバランスを考えて食事をしている。 【数値指標】 全体アンケート 「児童は、好き嫌いなく給食を食べている」 ⇒児童の肯定的回答 80%以上	1 望ましい食習慣の形成を図るために、意図的・計画的な食育の推進を図る。 (1) 給食時の校内放送を活用した食育活動の展開 (2) 学校栄養士と連携した「食に関する指導」の充実 (3) 学校保健給食委員会を活用した組織的な取組の推進  2 食に関する情報発信を積極的に行い、家庭と連携した食に関する取組を充実させる。 (1) 食育便りを通じた食育に関する啓発の推進 (2) 年3回のお弁当の日の取組の充実	【達成状況】 <table border="1"> <thead> <tr> <th>教職員</th> <th>保護者</th> <th>地域住民</th> <th>児童</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>97.1</td> <td>72.0</td> <td></td> <td>81.0</td> </tr> </tbody> </table> 数値指標は、児童の肯定的回答が80%を超え、目標を達成できた。 食に関する関心を高める取組を、担任と学校栄養士が連携して積極的に行ってきた成果と言える。  【次年度の方針】 ・給食便りや食育ファイル、お弁当の日の振り返りカードなど、家庭への啓発や意識向上に効果が認められた活動を今後も継続して行う。 ・授業を通して、養護教諭、栄養職員による食育推進体制の充実を図るとともに、食に関する取組の様子をHPや各種便りで発信していく。	教職員	保護者	地域住民	児童	97.1	72.0		81.0	
教職員	保護者	地域住民	児童								
97.1	72.0		81.0								
学 習	A15 児童は、進んで学習に取り組んでいる。 【数値指標】 全体アンケート 「児童は、授業中に進んで話し合うなど、積極的に学習している」 ⇒児童の肯定的回答 80%以上	1 基本的な学習態度の徹底を図り、学び方を身に付けた児童を育成する。 (1) 授業開始時刻前着席の徹底 (2) 学習用具等の業間時準備の徹底 (3) 朝の学習の工夫  2 「石井っ子の学習」に基づいた家庭と連携した指導を推進し、主体的な学習態度や学習習慣の育成を図る。 (1) 宿題の適切な分量・内容等の検討 (2) 個の実態に応じた自主学習の習慣形成	【達成状況】 <table border="1"> <thead> <tr> <th>教職員</th> <th>保護者</th> <th>地域住民</th> <th>児童</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>97.1</td> <td>86.6</td> <td>92.3</td> <td>89.5</td> </tr> </tbody> </table> 数値指標は、児童の肯定的回答が85%超で、目標を十分に達成することができた。 「石井っ子の学習」を基に、全学年共通理解のもと行ってきた成果であると考え。  【次年度の方針】 ・主体的な学習となるための基本的な学習態度や学習習慣を身に付ける指導を「石井っ子の学習」を基に継続して行う。さらに、学年に応じた自主学習のガイドライン「自主学習のすすめ」を提示し、家庭学習の充実につなげていく。	教職員	保護者	地域住民	児童	97.1	86.6	92.3	89.5
教職員	保護者	地域住民	児童								
97.1	86.6	92.3	89.5								

		(3) 認め励ます指導を中心とした個に応じた支援の充実									
	<p>A16 児童は、落ち着いて学習に取り組んでいる。</p> <p>【数値指標】 全体アンケート 「児童は、授業中に先生や友達の話をよく聞くなど、落ち着いて学習している」 ⇒児童の肯定的回答 80%以上</p>	<p>1 「発表の仕方」「話の聞き方」に関する基本的な学習態度や学習技能の習得を図るために、指導法を工夫・改善する。</p> <p>(1) 発達段階に応じた「発表の仕方」「話の聞き方」のポイントの掲示 (2) 小集団学習の効果的な活用</p> <p>2 視覚情報を制限し、落ち着いて学習できる教室環境づくりを進める。</p> <p>(1) 前面黒板周りの整理 (2) 計画的な作品掲示</p>	<p>【達成状況】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>教職員</th> <th>保護者</th> <th>地域住民</th> <th>児童</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>91.4</td> <td>88.6</td> <td>96.3</td> <td>86.8</td> </tr> </tbody> </table> <p>数値指標は、児童の肯定的回答が 85%以上となり、目標値を上回った。 しかし、落ち着いて学習に取り組む姿勢は、全ての基本となるため、今後も継続して指導していく必要があると考える。</p> <p>【次年度の方針】 ・今後は、全校統一で進めてきた望ましい学習態度に関する指導をさらに徹底するとともに、個に応じた指導法を工夫・改善し、基本的な学習技能の習得を図っていききたい。</p>	教職員	保護者	地域住民	児童	91.4	88.6	96.3	86.8
教職員	保護者	地域住民	児童								
91.4	88.6	96.3	86.8								
	<p>B2 児童は、進んで本を読もうとする意欲をもち、読書が習慣化されている。</p> <p>【数値指標】 全体アンケート 「児童は、進んで本を読み、読書に親しんでいる。」 ⇒児童の肯定的回答 80%以上</p>	<p>1 読書指導を充実させ、自ら進んで様々な本に接しようとする児童を育成する。</p> <p>(1) 朝の読書活動の充実による読書習慣の形成 (2) 学校図書館等、読書環境の整備による意欲付け (3) 読み聞かせボランティアとの連携による意欲付け (4) 図書館だよりやBOOK 新聞をととした啓発活動の推進</p>	<p>【達成状況】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>教職員</th> <th>保護者</th> <th>地域住民</th> <th>児童</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>97.1</td> <td>89.6</td> <td>97.0</td> <td>85.3</td> </tr> </tbody> </table> <p>数値指標は、児童の肯定的回答が 85%以上となり、目標値を上回った。朝の読書・ボランティアによる読み聞かせの継続実施、様々な読書環境の整備の充実によるものと思われる。</p> <p>【次年度の方針】 ・学校図書館の活用については年間指導計画を見直し、年間を通じて意図的・計画的な指導ができるようにする。家庭への読書の啓発については、家読を推奨し、図書館だより等の内容を工夫することで、より活性化できるようにしたい。</p>	教職員	保護者	地域住民	児童	97.1	89.6	97.0	85.3
教職員	保護者	地域住民	児童								
97.1	89.6	97.0	85.3								
本校の特色・課題等	<p>B3 学校は、地域協議会と連携し、親子のふれ合いや地域の方々との交流に努めている。</p> <p>【数値指標】 全体アンケート 「学校は、地域協議会と連携し、親子のふれあいや地域の方々との交流に努めている。」 ⇒保護者の肯定的回答 80%以上</p>	<p>1 保護者や地域団体・地域人材の積極的な活用を通して、家庭・地域と共に歩む魅力ある学校づくりを推進する。</p> <p>(1) 生活科や総合的な学習の時間における体験活動を中心とした交流活動の推進 (2) ボランティア調整会議による学校支援ボランティアの計画的な活用 (3) PTA、地域各団体共催による「秋祭り」による交流の推進</p>	<p>【達成状況】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>教職員</th> <th>保護者</th> <th>地域住民</th> <th>児童</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>94.3</td> <td>91.1</td> <td>100.0</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>数値指標は、保護者の肯定的回答が 90%超となり、満足できる結果となった。 生活科や総合的な学習の時間における体験活動を中心とした交流活動の推進や PTA、地域各団体共催による「秋祭り」による交流の推進等が評価につながったと考えられる。</p> <p>【次年度の方針】 ・ボランティア調整会議において、年間を見通した計画・調整を行い、より効果的な地域素材・人材の活用を図る。また、PTAや地域協議会との連携を強化するとともに、地域各団体との連携についても一層努力する。</p>	教職員	保護者	地域住民	児童	94.3	91.1	100.0	
教職員	保護者	地域住民	児童								
94.3	91.1	100.0									

## 〔総合的な評価〕

### 【成果】

19の評価項目中18の評価項目で設定した数値指標を上回り、ねらいを概ね達成することができた。中でも、次の6項目は全評価対象者から90%超の肯定的回答が得られ、十分に満足できる結果となった。(Aは宇都宮市共通の評価項目、Bは本校独自の評価項目)

- ・ A 1 学校は、活気があり、明るくいきいきとした雰囲気である。
- ・ A 2 教職員は、組織の一員として熱心に教育に当たっている。
- ・ A 6 日課、授業、学校行事などの教育課程は、適切に実施されている。
- ・ A 7 学校の公開や情報の積極的な発信・提供が行われ、開かれた学校づくりが進められている。
- ・ A 8 学校と家庭・地域・企業等との連携・協力を図った地域の学校づくりが推進されている。
- ・ B 3 学校は、地域協議会と連携し、親子のふれ合いや地域の方々との交流に努めている。

特に、A 1、A 2並びにB 3の肯定的回答の割合が高かったことは、昨年度に引き続き、全教職員の日々の地道な実践の積み重ねが評価されたものであると受け止めたい。ただ、質問項目によっては、わずかであるが肯定的回答が減少していることから、児童・保護者・地域から信頼される学校づくりに向けて、なお一層の努力が必要であると考えられる。

A 7の評価項目では、保護者及び地域住民から、昨年度同様に高い評価を得ることができた。土曜授業、学校公開等の実施内容や方法を工夫・改善することで、更に「開かれた学校づくり」を推進していきたい。

A 8やB 3の評価項目でも、昨年度同様に高い割合で肯定的回答を得ることができた。PTA・地域各団体・地域協議会等との連携が確立し、地域の教育力を活かした特色ある教育活動が展開できたことはすばらしい成果の1つであるといえる。次年度も、地域各団体等との連携を強化し、より充実した教育活動が展開できるようにしたい。

### 【課題】

18の評価項目中、次の1項目は、唯一ねらいを達成することができなかった。

- ・ B1 教職員は、児童・保護者との信頼関係を築き、居がある学校づくりに努めている。

B1については、全体的な肯定的回答の割合がわずかであるが下回り、数値目標を達成できなかった。一人一人のよさを認め、児童相互に認め合う場の設定を学校全体として取り組み、校内組織を活用した問題行動の早期発見・早期対応にも力を入れて取り組んできただけに、残念な結果となった。しかし、「保護者との連絡を密にとる」という質問内容を考えると、この結果を真摯に受け止め、今後は、一層、保護者との連携を心掛け、指導に当たっていききたい。

19の評価項目中、次の5項目はねらいを達成することができたが、保護者の肯定的な回答が教職員、地域住民、児童の3者と比べて、低い結果となり、取組の成果に対する認識の差をどう改善するべきか考慮する必要がある。基本的にはこれまでの取組を更に充実させ、児童の好ましい変容を引き出すことに重点を置きたい。また、取組の成果を積極的に情報発信することで、本校の教育実践に対する理解を深めることができるようにしていきたい。

- ・ A 5 教職員は、いじめが許されない行為であることを指導している。
- ・ A 11 児童は、進んであいさつをしている。
- ・ A 12 児童は、正しい言葉づかいをしている。
- ・ A 13 児童は、進んで運動する習慣を身に付けている。
- ・ A 14 児童は、栄養のバランスを考えて食事をしている。

A 5については、些細なトラブルも見逃さないきめ細かな指導を継続するとともに、適切な情報提供の場を設定することで保護者との連携を密にするよう努力してきた。数値としては高くはないが、前年度に比べて5ポイント近く上がっており少しずつではあるが、力を入れて行ってきた取組への理解が深まってきていると考えられる。今後も、保護者の信頼を得られるよう一層努力していきたい。

A 11、12の2項目は、「あいさつ」と「言葉遣い」に関する評価内容であり、社会生活を営む上で必要な、基本的な生活習慣の習得にかかわるものである。学校独自に行うあいさつ運動や地域学校園で取り組むあいさつ運動の実践は、地域とも連携した全校的な取組で大変充実していた。 また、児童会による朝会時のあいさつや「あいさつ推進キャンペーン」での取組は、児童が主体となった取組であり、継続することで全体の意識の向上につながると考えている。しかし、保護者の意識とは依然として開きがあり、学校外でのあいさつに課題があることが明確になった。これは「あいさつ」と「言葉遣い」共通の課題であると考え、学校での指導を学校外での生活場面に積極的に生かせるよう支援策を工夫・改善していきたい。

A 13については、児童の肯定的回答は高く、休み時間においては、ほとんどの児童が積極的に体を動かしている。保護者への質問が「平日の放課後や休日などに積極的に体を動かしている。」との内容であり、学校外での児童の運動に関する意識が低いと考えられる。今後も運動のよさや楽しさが感じられる活動を積極的に取り入れるとともに、運動習慣の確立に向けて、家庭への働きかけを行っていききたい。

※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針・重点目標・取組にかかわる内容は、文頭に○印または該当箇所の下線を付ける。

## 6 学校関係者評価

- ・全体的に数値目標がほぼ達成しており、満足できる結果であった。教職員のきめ細やかな指導が成果となって表れており、地域としては、大変頼もしいことである。地域としても、地域の子供を地域で育てていく認識のもと、自治会、育成会が連携して地域の行事を活性化していきたい。
- ・「あいさつ」については、校内だけでなく学校を離れた地域においても良くできている。
- ・木曜日の朝の学習の時間に行っている「振り返り学習」が、効果を上げるなど、良い取組が行われている。
- ・「朝食を毎日摂取しているか」の肯定的回答率は95.4%であるが、4.6%の児童は、朝食を毎朝摂っていないということである。評価結果を見る際、そのような見方をしていくことも必要である。また、評価結果が評価者によって差があるものについては、捉え方や感覚の違いに目を向けることにより、解決されるのではないか。
- ・言葉遣いや栄養については、家庭に環境が整っていることが基盤となるのではないか。

## 7 まとめと次年度へ向けて（学校関係者評価を受けて）

※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針・重点目標・取組にかかわる内容は、文頭に○印または該当箇所の下線を付ける。

- ・学校関係者評価では、本年度のアンケートの結果及び次年度の方針について了解をいただくことができた。次年度も、学校経営方針の下、今年度の成果と課題を受けた「次年度の方針」に基づき、児童がさらに充実した学校生活を送れるよう組織的・継続的な取組を行っていききたい。
- ・肯定的回答の割合が低い項目や評価対象者間の数値のばらつきが大きい項目については、課題がどこにあるかを分析した上で、より効果的な方策を考え実施していきたい。
- 《学校運営》
  - ・今後も学校・家庭・地域が連携・協力しながら、さらに明るく活気のある学校を目指して努力していくとともに、学校での取組について分かりやすく情報を発信していく。
- 《学習指導》
  - ・学習指導上の課題を常に意識し、学力向上に向けた授業研究・指導体制等を充実させ、より分かりやすい授業や個に応じた指導を展開していく。
  - ・家庭と連携し、家庭学習の習慣化と充実を図っていく。
- 《児童指導》
  - ・心豊かな児童の育成を目指し道徳の授業の充実を図るとともに、一人一人のよさを認め、互いのよさを認め合う場やそのよさが生かせる場の設定にも努める。
  - ・「あいさつ」「言葉遣い」など、基本的な生活習慣の向上について、地域学校園での取組を生かしながら、全校体制で指導を継続させていく。